

## 7月ニードルコークス価格の動向

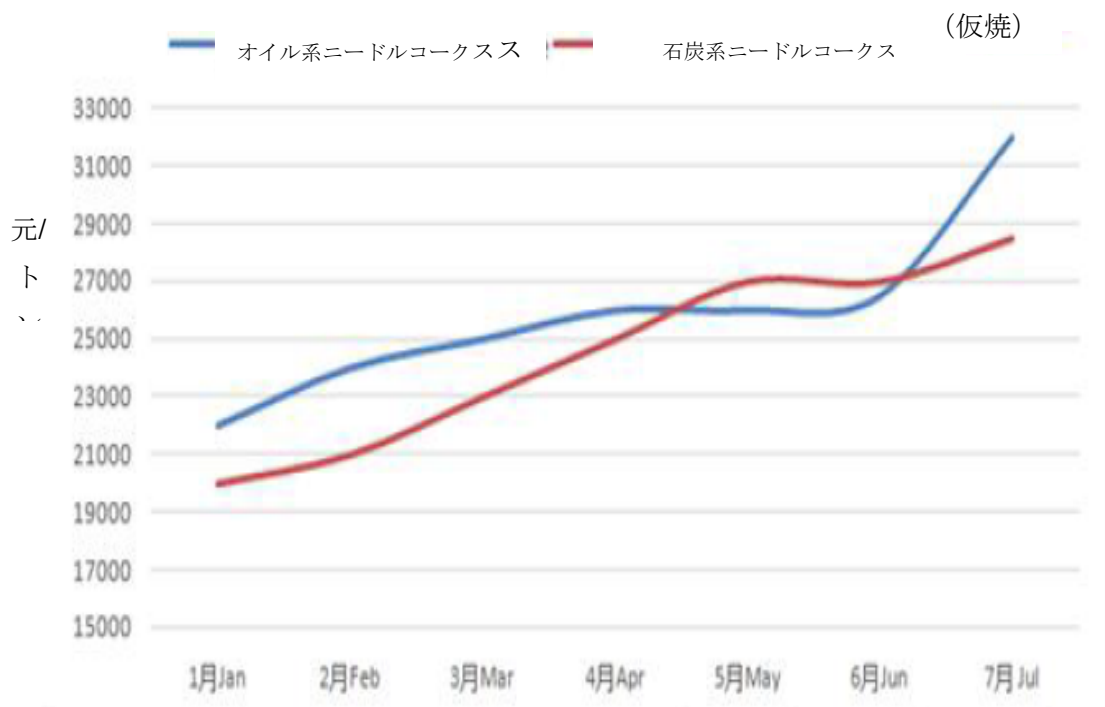
ICC より、ニードルコークスの市場は平穏である。7月13日時点、中国産石炭系ニードルコークスの価格は、仮焼コークスで25,000-28,500 元/トンであり、輸入コークスの価格は石油系で3,400-4,000 ドル/トン(22,670 元/トン-26,670 元/トン)、石炭系で3,400-3,800 ドル/トン (22,670 元/トン-25,340 元/トン) である。

(注) 元⇔ドルの換算は7/13のレート、6.6676 元/ドルを使用。

6月、遼寧錦州石化は点検期間であり、生産量は30%低下した、7月、生産回復以降、ニードルコークスの生産量は3,500 トン/月、価格は32,000 元/トンであり、6月より4,000 元/トン上昇している。山東益大のニードルコークスの価格は仮焼前で14,000 元/トン、仮焼で26,000 元/トンで、今年のニードルコークスの輸出量は12,000 トンと予想されている。

一方、7月に入って海外 P66 各系列のニードルコークス価格は全面的に上昇した。負極材料用の生コークスは1,500 ドル/トン、仮焼コークスは2,000 ドル/トンとなった。また、情報によると、7月、P66 からの輸入量は7,000 トンと予想されている。

各企業の実産回復により、ニードルコークス国内市場は徐々に緩和されることが期待されるが、価格の上昇に伴い下流の調達意欲が弱まる可能性があるため、炭素企業の購買状況を注視する必要がある。



図：2018年1-7月ニードルコークス価格推移